

組織と材質研究会ならびにその他の学会員の皆さん

今年10月17日から21日にかけて、第8回環太平洋木材解剖学会議 (8<sup>th</sup> PRWAC) が開催されます。この会議は当初の計画が拡大して IAWA と IAWS との合同会議として開催されることになりました。会議は南京市内にある風光明媚な紫金山の麓の南京国際会議場で開催されます。実際には5つ星ホテルの中ですので毎日の会議出席には大変便利です。Opening ceremony と Key-note lectures は大ホールで、口頭発表は中会議室と小会議室の2箇所を予約済みです。ポスターセッションはホテルのバルコニーから見下ろせるオープンスペースで行われる予定です。



大ホール(Opening ceremony, keynote)



中会議室



小会議室



ポスター会場

研究発表は IAWA 関連では wood anatomical research as relevant for tree biology and pathology, wood formation, ecological wood anatomy, dendrochronology and dendroclimatology, wood identification, wood quality, structure and utilization of bamboo and rattan, palaeobotany and archeology, protection of endangered timber species, wood utilization and the environment, wood culture, general wood anatomy, and classification, anatomy and utilization of Chinese rosewoods (“hongmu”)のテーマが用意され、IAWS 関連では

1. Wood science including wood properties, wood identification, wood structural diversity, wood anatomy, wood composites etc.
2. Wood processing technology including bio-refinery, biotechnology, bio-energy and bio-fuel, bio-materials etc.

### 3. Other topics related with wood and non-wood plants (bamboo, palm and rattan etc), cellulose nano fiber & its composites, and life cycle assessment of wood industry etc.

に関する研究発表を受け付けます。これら以外にポスターセッションが執り行われますので自由に発表テーマ、発表形式を選択できます。

PRWAC は第 8 回目を迎えますが、中国で開催されるのは今回が初めてです。この機会に木材科学の先進国として皆さんの優れた研究を発表していただき、中国ならびに世界各国の研究者と討議ならびに情報交換し、国際交流に貢献していただければと思っています。

最終日の 21 日はツアーが予定されています。南京の北東にある揚州を参加者全員で見学します。揚州はかつては中国の経済文化の中心地であり、遣唐使が揚州を通して長安に入っており、鑑真の故郷であり、空海も揚州を訪れていますので日本人にとっては一度は訪れてみたい場所です。まず、鑑真ゆかりの寺である大明寺を参拝し、揚州博物館でおびただしい数の版木を見学し、漢代広陵王墓で中国の埋葬制度のスケールの大きさと大量の木材利用を実感していただきます。漆器の産地としても名が知られていますので、時間が許せば揚州漆器を見てもらいます。

合同会議の参加登録、研究発表申込み、講演要旨締切、諸経費払込み（締切日以前に払込まれることをお勧めします）などすべての**手続きの締切が 7 月 15 日**ですので、お忘れのないようにお願いします。参加申し込み等の詳しい手続きに関してはホームページ（<http://8th-prwac.njfu.edu.cn>）を参考にしてください。

以上、簡単に合同会議の内容を説明しました。組織と材質研究会の多くの皆さんに南京でお目にかかれることを楽しみにしております。

8<sup>th</sup> PRWAC/IAWS 合同会議事務局に代わって  
(文責 伊東隆夫)